

障害者の地域生活移行支援策の概要

障害者の地域生活に必要な主な支援策一覧

相談支援

地域に出たら、初めてのことやたくさん相談したいこと（就職や日常生活全般）が起こると思う。今は施設の職員が相談に乗ってくれるけど、施設から出たら誰が親身になって相談に乗ってくれるのか心配
強度行動障害や重い自閉症など、相談できる場所が少なくて困っている

相談支援体制の整備

障害者総合支援センター 244,642千円
3 障害対応の生活支援ワーカー、就業支援ワーカーと相談支援体制推進アドバイザーを全圏域に配置するとともに、療育支援事業を全圏域で実施
市町村：相談支援専門員等78人、県：療育コーディネーター等70人、計148人を配置

障害者相談支援従事者研修事業 2,562千円
障害者ケアマネジメント従事者の育成

H21の拡充内容等

障害者就業・生活支援センター（国庫事業） 全10圏域で実施

専門アドバイザーの派遣を事業に追加

地域に住む

現在、入所・入院しているけれど、グループホームに入居し、地域生活をしたい
西駒郷には地域移行希望者が多いけど、みんなが暮らすのに十分なグループホームができるのか心配
障害が重いので、グループホームで暮らせるか心配
小さな町村なので、同じ障害だけのグループホームがつかれない
身体障害者なのでグループホームには入れない

生活の場の整備

グループホーム等整備事業 161,575千円

・障害者グループホーム施設整備補助
事業主体：社会福祉法人、NPO法人等
21年度予定 新築9件 改修20件 計29件

国庫補助制度の活用による必要な施設整備の推進

地域で働く

グループホームに出たら、昼間は何をするの？通える通所授産施設や共同作業所があるか心配
障害が重い方の日中活動が心配
資格を取ったり、就職して収入を増やしたい
共同作業所へ通っているけど、もっと工賃がほしい

就労・日中活動の場の整備

共同作業所新体系移行円滑化支援事業 177,672千円
運営費補助

障害者支え合い活動支援事業 971千円
当事者活動の支援

憩いの家事業 4,830千円

福祉就労強化事業（工賃アップの取組） 43,608千円
授産施設等の共同受注強化、民間の専門技能活用支援
工賃アップ推進員配置、工賃引き上げ計画策定支援、モデル事業等

障害者ITサポート運営事業 4,671千円
ITサポートセンターを設置し、障害者の社会参加と就労を促進

障害者自立支援法に基づく新体系へ円滑に移行するための経営費補助、移行を支援するセミナーの開催等（H19～21）

工賃倍増5か年計画評価検証委員会の設置

地域で暮らす

現在、入所・入院しているけれど、グループホームに入居し、地域生活をしたい
グループホームには世話人さんしかいないらしいが必要な支援が受けられるか心配
親元を離れ、早く自立した生活を
週末など、何をしようかわからず、どうしても家の中に閉じこもりがちになってしまう

在宅生活支援・その他

障害者自立生活体験事業 1,955千円
地域の宅幼老所、グループホーム等を利用した1泊2日程度の宿泊体験

精神障害者退院支援事業 37,533千円
平成23年度末までに230人の退院可能な精神障害者の退院を目指す。
退院支援コーディネーターによる退院支援

民間入所施設への地域生活移行推進員配置 1,378千円
民間施設の地域生活移行促進

・退院支援コーディネーター5か所設置
・社会資源づくり促進事業 予算化

本人・家族の心配

安心して暮らすことのできる充実した地域生活の実現

* 障害者自立支援対策臨時特例基金事業

21～23年度（延長 積み増し）

21年度予算額 130,210千円